

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202004

政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度		B	
単位施策	3	青少年教育の推進	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	武雄市児童交流事業		見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関係課		#N/A	
事業指標	武雄市への児童派遣及び受け入れ				#N/A	
事業目標	派遣児童12名、引率者3名及び受け入れ児童16名		ハード/ソフト事業区分	2	ソフト事業	
住民参加 住民協働	2		関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画 内容	○武雄市への児童派遣及び受け入れ	武雄市への児童派遣及び受け入れ	武雄市への児童派遣及び受け入れ	武雄市への児童派遣及び受け入れ 派遣 経費 旅費:741千円 需用費: 40千円 食糧費 30千円 消耗品 10千円 負担金:1,397千円  受入 経費 報償費: 40千円 旅費: 3千円 需用費:175千円 使用料: 26千円	武雄市への児童派遣及び受け入れ 派遣 経費 旅費 622千円 需用費 40千円 食糧費 30千円 消耗品 10千円 負担金 1,387千円  受入 経費 報償費 40千円 旅費 3千円 需用費 200千円 使用料 24千円	武雄市への児童派遣及び受け入れ 派遣 経費 旅費:899千円 需用費: 40千円 食糧費 30千円 消耗品 10千円 負担金:1,684千円 使用料:5千円  受入 経費 報償費: 40千円 旅費: 3千円 需用費:280千円 使用料: 66千円	
	事業費(千円)	12,456	2,000	2,000	2,422	3,017	3,017
計画 事業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	2,160	360	360	480	480	480
一般財源	10,296	1,640	1,640	1,942	2,537	2,537	
実績 事業 費	事業費(千円)	10,507	2,175	1,907	1,847	2,356	2,222
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	2,930	390	360	360	1,400	420	
一般財源	7,577	1,785	1,547	1,487	956	1,802	
関連 事項	(特定財源の詳細等) ・武雄市児童交流派遣 参加者負担金	【評価・実績】	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者3名、児童13名 ※学校交流、ホームステイ等 武雄市児童受け入れ 引率者4名、児童16名 ※学校交流、ホームステイ等 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者3名、児童12名 ※学校交流、ホームステイ等 武雄市児童受け入れ 引率者4名、児童16名 ※学校交流、ホームステイ等 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者4名、児童12名 ※学校交流、ホームステイ等 武雄市児童受け入れ 引率者4名、児童16名 ※学校交流、ホームステイ等 ※前年度評価結果 A—継続/拡充	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者4名、児童15名 ※学校交流、ホームステイ等 武雄市児童受け入れ 引率者4名、児童16名 ※学校交流、共同合宿等 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) 武雄市への児童派遣 引率者4名、児童14名 ※学校交流、ホームステイ等 武雄市児童受け入れ 引率者4名、児童16名 ※学校交流、ホームステイ等 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	派遣員等15名、受入児童16名	派遣員等15名、受入児童16名	派遣員等19名、受入児童16名	派遣員等20名、受入児童16名	派遣員等18名、受入児童16名
		年度達成率	109%	95%	76%	78%	74%
		全体達成率	17%	33%	48%	67%	84%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	武雄市児童交流事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公輔

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小学生(5年生・6年生)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	派遣児童16名、引率者4名 受入児童16名、引率者4名								
【抱える課題やニーズは】	より多くの異文化や気候風土のための体験機会の確保	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ともに助け合う力の醸成とリーダーの養成	① 派遣児童及び引率者	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>20名</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>18名</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>90.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	20名	実績値	18名	達成度	90.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	20名										
実績値	18名										
達成度	90.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	学校及び地域等でのリーダー的役割の発揮と学ぶ意欲の促進	② 受入児童及び引率者	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>20名</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>20名</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	20名	実績値	20名	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	20名										
実績値	20名										
達成度	100.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	派遣	町内各小学校児童14名、引率者4名を派遣し、学校交流及びホームステイを体験									
	受入	武雄市児童16名、引率者4名を受入れ、学校交流、ホームステイ及び雪上遊びを体験									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	気候、風土の違う地域との文化的・教育的な交流は、地域児童の情操教育、郷土意識の向上及び健やかな変容を図るため必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	本町とは違う気候や風土、生活習慣を体験でき、様々な活動意欲が養われた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	事前調査により交通手段、日程等の工夫を行い経費削減に取り組んでいる。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

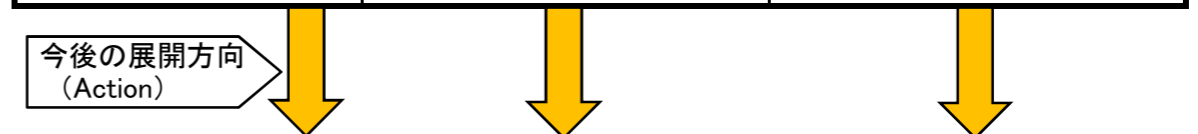
公平	判断の理由	小学5年生以上の全児童を対象として、希望者について等しく参加を認めているとともに、適切な受益者負担を求めており、公平性を確保している。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
児童の体験交流により、本事業の目的に沿った事業の実施ができています。		



継続/現状維持		
地域間交流等の体験をとおり、それぞれの次代を担う青少年の育成が図られることから、継続が必要である。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止